



若者カフェ成果報告

【報告者】

鈴木聖生（静岡大学人文社会科学部4年）

澤口翔斗（静岡大学人文社会科学部4年）

藤田智尋（静岡県立大学国際関係学部3年）

1



2020年度議論のテーマ

- テーマ①「静岡県が有する美しい自然との共存・共生」
- テーマ②「静岡県で実装すべき“新しい仕事・働き方”」

2

若者カフェ開催概要

- 1回目（令和2年9月24日） テーマ①：静岡県の自然に関するトピックを学習・議論
- 2回目（令和2年10月23日） テーマ①：1回目議論をもとに3班に分かれ議論
- 3回目（令和2年11月12日） テーマ②：ゲストヒアリング1、ヒアリングを参考に議論
- 4回目（令和3年1月14日） テーマ②：ゲストヒアリング2、ヒアリングを参考に議論
- 5回目（令和3年2月18日） 1～4回の議論をもとにテーマ①②のまとめ

3

1回目の主な意見

（静岡県が有する美しい自然との共存・共生について）

静岡県自然環境に関わるトピック「リニア」「サクラエビ」

- 開発（経済）と自然はどちらも大切。何を豊かと捉える？_A
- リニアは国のメリットは考えられるが、静岡県の水問題も大事
- 最先端の技術は体感したい
- サクラエビの漁獲量減少は原因不明だが、資源保護は大切。
併せて影響を受ける人への補償もきちんとあってほしい

4

1 回目の主な意見

(静岡県が有する美しい自然との共存・共生について)

自然との共存・共生に関わる意見

- ・若年層向けに静岡県の自然環境にまつわる教育、情報発信が必要^Bではないか
- ・成長し続けることに意味があるか⇔最低限の経済活動は必要
- ・空き家活用や一次産業等、今あるものを有効活用や効率化でもっと稼げるシステムはないか（持続可能をビジネス化）
- ・観光と結びついて維持できる自然^cもあるはず

5


2 回目の主な意見

(静岡県が有する美しい自然との共存・共生について)

Aグループ「何を豊かと捉えるか」

- ・自然に囲まれると心が豊かに。次世代に引き継ぐと共に活用を
- ・自然と都市機能の調和が取れている状態が理想の豊かさ
- ・県民が地元の自然環境をよく知り、好きになることが第一歩。
そのための教育や広報、交流機会は大切

6




2回目の主な意見

(静岡県が有する美しい自然との共存・共生について)

Bグループ「静岡県の自然との共存・共生に関する情報発信」

- ・若年層受け、地域のブランディングという点でも洗練された広報が重要
- ・発信元（県）と受け手（若年層）とのディスコミュニケーション。
受け手を発信元に据える仕組みはどうか
- ・発信内容や媒体などの見た目をトータルでディレクションできる人の起用を

7



2回目の主な意見

(静岡県が有する美しい自然との共存・共生について)

Cグループ「自然と観光のより良い関係」

- ・観光地の環境保全とアクティビティをパッケージにして商品化
- ・観光客が減り環境が良くなった場所も悪くなった場所もある？
- ・コロナが落ち着いてからの観光業像も踏まえた支援が必要では

8

3回目の主な意見

(静岡県内で実装すべき“新しい仕事・働き方”)

東京在住のゲスト（静岡県内大学出身者・女性）ヒアリング結果

- ・ 出版、広告関係の仕事に就きたく東京に集中して就活
- ・ 東京の仕事は全国規模の仕事が多くやりがい
- ・ 東京の良さは、文化的な豊かさと選択肢の多さ
- ・ 今振り返ると静岡にも様々な仕事がある。学生時には気づけない
- ・ 子育てをするなら安心して遊べる場が多い地方が良いのでは
- ・ 静岡県民は県民としてのアイデンティティが弱い？

9

3回目の主な意見

(静岡県内で実装すべき“新しい仕事・働き方”)

学生が静岡県で働きたいと思う理由

- ・ 親元に近い地元の安心感。これまでの人間関係も大事
- ・ 若年層は社会人になっても経済的に厳しい印象。
実家暮らしなら家賃等節約できる
- ・ ネットショッピングも便利になって静岡でも困らない
- ・ 自然豊かで子育ては都会よりしやすそう

10

3 回目の主な意見

(静岡県内で実装すべき“新しい仕事・働き方”)

学生が静岡県で働きたいと思わない理由

- ・ずっと静岡県にいと他の世界を知りたくなる
- ・静岡県は閉鎖的な空気でアップデートが遅い
- ・静岡県にある仕事、企業のことがよくわからない
(東京には多くの選択肢があり比較してしまう)
- ・クリエイティブ関連、カルチャー関連の仕事が静岡県内にない
- ・就活のオンライン化で他県の就活も参加しやすくなった

11

4 回目の主な意見

(静岡県内で実装すべき“新しい仕事・働き方”)

新しい働き方を実践するゲストヒアリング結果

- ・ネット環境があればどこでもできる仕事でフリーランスをするなら、静岡県は大都市へのアクセスも良く、食事も美味しくて良い
- ・フリーランス推奨の流れもあるが人によって向き不向きはある
- ・コロナ以前よりもテレワークで仕事が完結するようになった
- ・静岡県ではフリーランスへの見方や対応が気持ち良いものではなかった。
既存の組織が古いレベルで権力を持ってしまい技術等が遅れている
- ・外部からの人へもっと開放的になれば人材は勝手に集うのでは

12

4 回目の主な意見

(静岡県内で実装すべき“新しい仕事・働き方”)

学生が良いと思う仕事や働き方

- ・ 個人で選択できることを前提としたテレワークの普及
 - ・ 多様な価値観に寛容な職場（働き方、服装髪型など）
 - ・ 給料など基本的な労働環境の向上も大事
 - ・ 労働時間による評価だけでなく多面的な評価がなされること
 - ・ 産後女性の職場復帰のしやすさや男性の育休100%取得は大前提
 - ・ 職場の人間関係、コミュニケーションが良好であること
 - ・ クリエイティブ、カルチャー関連の仕事（根付かないのには静岡県の閉鎖感が一因では）
- ★上記を実現するために自治体や県民等の意識改革が必要？


13

5 回目の主な意見（まとめ）

テーマ①「静岡県が有する美しい自然との共存・共生」について

- ・ 経済的価値（利便性）と自然保護はトレードオフの関係
- ・ 自然を短期～長期で満喫できるように「暮らせる観光地化」
- ・ 洗練された文化、娯楽施設等の集約と多拠点化
- ・ 一次産業に若年層が入りやすい仕組み、広報

14




5回目の主な意見（まとめ）

テーマ②「静岡県で実装すべき“新しい仕事・働き方”について

- ・テレワークが標準実装され出勤頻度等が個人で選びやすい
- ・仕事と家庭の両立が快適にできる
- ・独身と既婚、性別等に関わらず、様々な背景の人が生き活きる職場
- ・年齢や時間による評価でなく仕事の成果や資質による評価
- ・クリエイティブ、カルチャー関連の仕事、企業の拠点化
- ・ハイレベルなクリエイティブ職の人たちに好まれる環境

15




若者カフェ全5回を通して

クリエイティブ関連の仕事への人気はあるが……

- ・一線で仕事をする人から見たら、静岡県はレベルの向上が必要
- ・クライアント側も発注時に適正な仕様を出し業者を見極められるか
- ・今後は成果物や技術のクオリティを見極められる人材が行政や企業内に必要
- ・技術や才能ある人が静岡県ならやる気を持って仕事に臨める環境づくり
- ・技術や才能ある人に適切にお金がまわること

16




若者カフェ全5回を通して

静岡県にはまだまだ閉鎖的で保守的な印象 →柔軟性に欠ける

- ・実績や技術あるフリーランスより組織（権力）が偉いというような見方NG
- ・男性が育休を100%取得できる上での新しい働き方、女性活躍
- ・独身女性の居心地の悪さも女性の県外流出につながっているのでは

17



若者カフェ全5回を通して

「居心地が悪いと感じた人は黙って出ていく」
→見えづらい声を拾い、県全体で価値観を変える必要

18

ご清聴ありがとうございました

